

# はじめに

## チーム YURCC・YURCC パッケージについて

ご存じのように腎細胞癌 (RCC) は分子標的薬治療のよいターゲットとされており、実際、多くの症例で効果がみられます。しかし、分子標的薬の治療ではこれまでになかったような副作用(有害事象:AE)が出現し、時として、非常に重篤になります。また、欧米での有害事象とは異なった形で出てくることも少なくないので、使用する側も患者さんも注意しなければなりません。

チーム YURCC は腎細胞癌に対する分子標的薬治療を安全に行うために、分子標的薬による治療の経験を蓄積・共有し、普遍化することを目的として組織されました。新薬の使用を当たり前の治療にするまで、情報交換や対策を話し合うプラットフォームです。チーム YURCC は 2008 年 12 月から実際の活動を開始しました。実際の活動はもっぱらコア(問題や有害事象の関係するスタッフ)の話し合いとネットベースでの情報提供で行っております。チームの構成は医師、看護師、薬剤師、事務スタッフなど多職種にわたっています。

本書のもとである YURCC で作成した YURCC パッケージは、実際の治療に必要な各種のツールをまとめたもので、すぐに使える、具体的な指示がある、AE については専門医への紹介のタイミングを明らかにする、ことを念頭に作成し、臨床現場で活用してきました。

この度、皆様方のご批評を仰ぐためにも YURCC パッケージを拡充し、出版することにいたしました。本書では、これまでのパッケージ内容をアップデートし、さらに「分子標的薬治療における AE 対策の解説」、「手足症候群のフットケア・ハンドケア」、「看護基準」、臨床現場ですぐに使える「各種記入用紙」などを加えて、内容を一層充実させ、日常の臨床に役立てていただきやすいように工夫しました。

このパッケージは、今後、現場の経験、情報に合わせて、定期的にアップデートすることを予定しております。アップデートに際しましては、先生方のご経験が貴重な情報となりますので、もし、このパッケージでお気づきの点、また、実際の対応でうまくいかないようなことがありましたら、巻末の「バリエーションシート」にご記載のうえ、お送りいただきたくお願い申し上げます。e-mail でも結構です。どのようなことでもかまいません、簡単にご記載で結構ですので、是非よろしく願いいたします。

なお、このパッケージは YURCC メンバー全員で作成したのですが、看護基準の原案については高橋理佳氏および青山賀子氏、また投与スケジュール・副作用管理シートおよび薬歴管理表についてはそれぞれ志田敏宏氏、青山賀子氏によるものであることを付記します。

本書が先生方の診療に少しでもお役に立ちましたら、YURCC メンバー一同、幸いです。

2010 年 10 月

YURCC メンバー一同

(編集) 富田善彦 山形大学医学部教授

# ● 主な内容とパッケージツールの使い方

YURCC パッケージは、医師、看護師、薬剤師など、腎癌分子標的薬治療にかかわるすべての方の日常診療に役立つツール集です。それぞれのツールには、対象となる職種マークを付けていますので、参考にしてください。



医師向けページのマーク



看護師向けページのマーク



薬剤師向けページのマーク

## ● 分子標的薬治療における AE 対策

泌尿器科従事者にとって特に注意の必要な AE に絞り、その対策について各専門医の立場からコメントしています。

日常ご利用いただくために、**AE 対策ポケット版**を巻末付録につけております。切り取ってお使いください。

**特長** 実際に使用する際にわかりやすいよう、薬は商品名で記載しています。

## ● 分子標的薬投与患者に対する看護

看護師向けのパートです。

**特長** これまでの分子標的薬治療時の看護実践を通し作成したもので、より専門性の高いチーム医療の発揮と、適切な看護実践を目的にしています。

## ● お薬の説明

患者さん向け分子標的薬説明文書です。実際の患者説明の際にパンフレットとして使用してください。[付録 CD から印刷できます。]

**特長** 事務職の方にチェックを受け、一般の方に読みやすいように作ってあります。

## ● 各種記入用紙/患者向けツール

日常診療の際に使用するツールです。[付録 CD から印刷できます。]

実際の使用方法を下記「各種記入用紙/患者向けツールの使い方」に示します。

### ● 各種記入用紙/患者向けツールの使い方 [対象職種]

#### ● 分子標的治療に関する同意書 [医師]

患者説明の際に、「お薬の説明」を使用し説明したうえで、この同意書にサインをしてもらいます。

#### ● 投与開始前チェックリスト (既往歴/全身状態) [医師]

分子標的薬開始前にチェックすべき既往歴、全身状態、行うべき検査のリストです。

### ・投与スケジュール表〔医師，薬剤師〕

検査日の欄に日付を入れると，その日に必要な検査が一目でわかるようになっています。カルテに挟んで使用してください。

### ・薬歴管理表〔薬剤師〕

分子標的薬治療以前から内服している薬，分子標的薬治療中に開始になった薬を表に記入してください。現在内服している薬が一目でわかります。

### ・副作用管理シート〔薬剤師〕

1 サイクル目に作成し，2 サイクル目以降の副作用管理の参考とします。

具体的には，1 サイクル目に有害事象が出現した際，出現した日付（横軸）と出現した有害事象名（縦軸）の交差する欄に AE のグレードを書いていきます。このシートを 1 サイクル目に作成すると，患者さんそれぞれの副作用プロファイルが出来上がります。このプロファイルシートにより投与開始何日ごろに，どのグレードの AE が出現したかが一目でわかり，2 サイクル目以降の AE 管理の参考資料となります。

もし，1 サイクル目の途中で休薬などがあった場合は，2 サイクル目もプロファイルシートを作成し，3 サイクル目以降の参考としてください。

### ・分子標的薬を服薬中のスキンケアについて〔医師，看護師，薬剤師〕

ネクサバール，スーテント内服中におこる手足皮膚反応の症状の出方とその対策を患者さん向けに示したものです。患者さんの QOL を大きく左右し，服薬コンプライアンスにも直結する合併症ですが，適切な対策をとることにより，大きく症状を軽減させることができます。患者さんへ渡すパンフレットとして使用してください。

### ・問診票（分子標的薬の治療を受けている患者さんへ）〔医師，看護師〕

分子標的薬治療中の患者さんに対して，外来受診前にチェックしてもらうための問診票です。分子標的薬内服中には必ずチェックしなければならない症状を外来の待ち時間中にチェックしてもらえます。

### ・バリエーションシート〔医師，看護師，薬剤師〕

本パッケージで気をついた点，実際の対応でうまくいかないようなことがありましたら，どんな小さなことでもかまいませんので，「バリエーションシート」にご記載のうえ，送ってください。本パッケージは，現場の経験，情報に合わせて，定期的にアップデートする予定です。その際，医師の皆様，看護師の皆様，薬剤師の皆様，患者さんの意見を反映したいと考えています。よろしく願いいたします。

内藤 整

山形大学医学部腎泌尿器外科学講座助教